



2024年12月19日

各位

会社名 株式会社ぽすとめいとホールディングス
(コード番号 308A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 CEO 鈴木 淳
問合せ先 取締役 CFO 栗原 福子
電話番号 086-221-1105
U R L [https:// www.postmate-hd.jp](https://www.postmate-hd.jp)

東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2024年12月19日に東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、当社グループの業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別紙のとおりであります。

(単位:百万円、%)

項目	決算期	2025年6月期(予想)		2024年6期		
		構成比	対前期増減比		構成比	
売上高		1,329	100.0	0.1	1,327	100.0
営業利益		16	1.2	△46.1	30	2.3
経常利益		19	1.5	△67.7	61	4.6
親会社株主に帰属する当期純利益		24	1.8	18.1	20	1.6
1株当たり当期純利益		102.80円		102.01円		
1株当たり配当金		—		0.00円		

(注) 1株当たり配当金については、現時点では未定のため記載しておりません。

【2025年6月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

内外経済は、ロシア・ウクライナ情勢に伴う資源価格高騰、世界的なインフレの進行と、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、翌連結会計年度(2025年6月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高1,329百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益16百万円(前年同期比46.1%減)、経常利益19百万円(前年同期比67.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益24百万円(前年同期比18.1%増)を予想しております。

(2) 業績予想の前提条件

①売上高

当社グループの事業セグメントは、「保育事業」「ビルメンテナンス事業」「コンサルティング等事業」の3つであり、各事業部門において、計画策定時点における前年の実績をベースにした収入（サービス売上高、国庫補助収入等）を積み上げて、売上高計画を策定します。

(ア) 保育事業

計画策定時点における園児集客数の予測と前年の園児集客実績をベースに算出した収入予測を積み上げて、売上高計画を策定します。

当事業の売上高は、国庫補助収入とそれ以外の売上とに大別されます。又、サービスについて、施設型保育園の運営（自社運営、受託運営）と、ベビーシッター・イベント託児とに分類されます。更に施設型保育園は、認可・小規模認可・企業主導型・認可外の施設に分類され、その内、認可・小規模認可・企業主導型の施設の収入については、利用者へ請求する売上高のほかに、国庫補助収入を得ております。これらにより、1,149百万を計画しております。

(イ) ビルメンテナンス事業

計画策定時点における前年の売上実績をベースに算出した収入予測を積み上げて、売上高計画を策定します。

当事業のサービスは、リフォーム工事、入退去時修繕及び、定期清掃となっております。定期清掃については主要な顧客が固定されております。また、リフォーム工事及び入退去時修繕については、前年並みの受注を想定し、これらにより、170百万円を計画しております。

(ウ) コンサルティング等事業

コンサルティング等事業におきましても、前期実績と同水準の9百万を計画しております。

以上の結果、売上高は1,329百万円（前年同期比0.1%増）と予想しております。

②売上原価、売上総利益

売上原価は、過去の実績に加え、人件費単価増加に伴う労務費の増加等から算出しております。

これらの結果、売上原価は830百万円（前年同期比0.1%減）、売上総利益は499百万円（前年同期比0.5%増）と予想しております。

③販売費及び一般管理費、営業利益

販管費及び一般管理費は、過去の実績に加え、人件費単価増加に伴う労務費の増加等を考慮して算出しております。

これらの結果、販管費及び一般管理費は483百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は16百万円（前年同期比46.1%減）と予想しております。

④営業外損益、経常利益

営業外損益は、過去の実績を考慮して算出しております。

これらの結果、経常利益は19百万円（前年同期比67.7%減）と予想しております。

⑤特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益は、新たに開設する学童施設の補助金を見込んでおります。また、法人税等及び法人税等調整額を考慮して親会社株主に帰属する当期純利益は24百万円（前年同期比18.1%増）と予想しております。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容(事業計画に関する事業目標も含まれますがそれに限られません。)は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他多様な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年12月19日

上場会社名 株式会社ぼすとめいとホールディングス 上場取引所 東
コード番号 308A URL https://www.postmate-hd.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 鈴木 淳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 栗原 福子 TEL 086(221)1105
定時株主総会開催日 2024年9月27日 配当支払開始予定日 —
発行者情報提出日 2024年11月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	1,327	9.3	30	—	61	—	20	—
2023年6月期	1,213	83.8	△83	—	△62	—	△92	—

(注) 包括利益 2024年6月期 20百万円(—%) 2023年6月期 △92百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	102.01	—	73.6	2.6	2.3
2023年6月期	△677.86	—	—	△11.2	△6.9

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 ー百万円 2023年6月期 ー百万円

(注) 2023年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。2024年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	802	27	3.5	118.34
2023年6月期	808	△27	△3.4	△165.69

(参考) 自己資本 2024年6月期 27百万円 2023年6月期 △27百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	101	△3	△15	153
2023年6月期	15	△41	2	70

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率
	中間期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2024年6月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2025年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 2025年6月期の配当に関しては未定です。

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,329	0.1	16	△46.1	19	△67.7	24	18.1	102.8

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② 以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年6月期	236,568株	2023年6月期	166,568株
2024年6月期	－株	2023年6月期	－株
2024年6月期	201,952株	2023年6月期	135,798株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、景気の緩やかな回復傾向が見られましたが、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高騰や円安による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、保育事業におきまして、2022年に幅広いニーズを満たすフレキシブルな保育園を中心に4施設を新規開設いたしました。保育施設は21施設（受託運営含む）となりました。また、2023年4月に新たな事業として放課後児童クラブの受託運営を開始しております。

上記の結果、当連結会計年度（2023年7月～2024年6月）の売上高は1,327,940千円（前年同期比9.3%増）、営業利益は30,727千円（前年同期△83,332千円）、経常利益は61,307千円（前年同期△62,121千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は20,601千円（前年同期△92,053千円）となりました。

セグメント別の経営成績については、以下のとおりです。

<保育事業>

当社グループの基幹事業である保育事業については、園児の充足率が高まり、きめ細かい経費コントロールにより売上高は1,150,912千円（前年同期比10.3%増）となり、セグメント利益（営業利益）は39,645千円（前年同期△116,404千円）となりました。

<ビルメンテナンス事業>

ビルメンテナンス事業については、主力であるハウスメーカーの受注は回復基調であるものの、売上高は168,015千円（前年同期比6.8%増）となり、セグメント利益（営業損失）は△15,512千円（前年同期7,692千円）となりました。

<コンサルティング等事業>

コンサルティング等事業については、新規事業の育成段階であることもあり、売上高は9,013千円（前年同期比33.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は△1,878千円（前年同期4,839千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,191千円減少し、802,798千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ82,719千円増加し、243,924千円となりました。これは主に現金及び預金残高が83,096千円増加したことによるものであります。固定資産の残高につきましては、前連結会計年度末に比べ88,910千円減少の558,874千円となりました。これは主に減損損失及び減価償却により建物及び構築物が56,198千円、その他の有形固定資産が18,732千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ61,786千円減少し、774,802千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ68,540千円減少し、289,906千円となりました。これは1年以内返済予定長期借入金残高が6,296千円増加したものの、短期借入金の残高が70,000千円、未払金が8,976千円減少したことなどによるものであります。固定負債の残高につきましては、前連結会計年度末に比べ6,754千円増加の484,896千円となりました。これは主に、長期借入による資金調達により長期借入金残高が13,515千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ55,594千円増加の27,995千円です。これは主に、増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ17,500千円増加したこと、親会社株主に帰属する当期純利益が20,601千円であったことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は153,876千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により、101,756千円の収入（前年同期は15,301千円の収入）となりました。これは、税金等調整前当期純利益17,556千円、賞与引当金の増加額3,198千円、減価償却費39,731千円、のれん償却額6,125千円、減損損失43,629千円などがあつたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により、3,472千円の支出（前年同期は41,779千円の支出）となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入935千円であり、支出の主な内訳は無形固定資産の取得による支出1,271千円、保険積立金の積立による支出2,668千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により、15,187千円の支出(前年同期は2,526千円の収入)となりました。収入の内訳は、長期借入れによる収入130,000千円、株式の発行による収入35,000千円であり、支出の内訳は、短期借入金純増減額の返済による支出70,000千円、長期借入金の返済による支出110,187千円であります。

(4) 今後の見通し

内外経済は、ロシア・ウクライナ情勢に伴う資源価格高騰、世界的なインフレの進行と、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、翌連結会計年度(2025年度6月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高1,329,917千円(前年同期比0.1%増)、営業利益16,537千円(前年同期比46.1%減)、経常利益19,785千円(前年同期比67.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益24,320千円(前年同期比18.1%増)を予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,779	153,876
売掛金	36,248	39,083
完成工事未収入金	17,981	17,367
未成工事支出金	—	2,803
原材料及び貯蔵品	2,802	2,881
その他	33,391	27,950
貸倒引当金	—	△37
流動資産合計	161,204	243,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	473,379	417,180
土地	47,359	47,359
その他	47,201	28,469
有形固定資産合計	567,940	493,009
無形固定資産		
ソフトウェア	4,585	3,737
のれん	20,929	14,803
無形固定資産計	25,514	18,540
投資その他の資産		
投資有価証券	909	—
繰延税金資産	1,444	2,881
その他	51,975	44,441
投資その他の資産合計	54,330	47,323
固定資産合計	647,785	558,874
資産合計	808,989	802,798

株式会社ぼすとめいとホールディングス (308A)
 2024年6月期 決算短信 [日本基準] (連結)
 (単位: 千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,274	13,453
短期借入金	70,000	—
1年以内返済予定長期借入金	95,066	101,363
未払法人税等	4,451	2,751
契約負債	23,739	23,699
賞与引当金	23,147	26,345
その他	128,766	122,292
流動負債合計	358,446	289,906
固定負債		
長期借入金	417,223	430,739
繰延税金負債	4,953	—
資産除去債務	48,516	48,879
その他	7,448	5,278
固定負債合計	478,141	484,896
負債合計	836,588	774,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	47,500
資本剰余金	57,796	75,296
利益剰余金	△115,402	△94,800
株主資本合計	△27,605	27,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	—
その他の包括利益累計額合計	6	—
純資産合計	△27,599	27,995
負債純資産合計	808,989	802,798

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,213,969	1,327,940
売上原価	789,361	830,659
売上総利益	424,608	497,281
販売費及び一般管理費	507,941	466,553
営業利益又は営業損失 (△)	△83,332	30,727
営業外収益		
受取利息	141	130
助成金収入	16,249	18,013
雑収入	12,669	19,455
営業外収益合計	29,060	37,598
営業外費用		
支払利息	7,481	6,950
雑損失	366	68
営業外費用合計	7,848	7,018
経常利益又は経常損失 (△)	△62,121	61,307
特別利益		
投資有価証券売却益	—	15
特別利益合計	—	15
特別損失		
固定資産除去損	—	137
減損損失	2,282	43,629
特別損失合計	2,282	43,766
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△64,403	17,556
法人税、住民税及び事業税等	5,080	3,342
法人税等調整額	22,570	△6,387
法人税等合計	27,650	△3,045
当期純利益又は当期純損失 (△)	△92,053	20,601
親会社株主に帰属する当期純利益 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△92,053	20,601

株式会社ぼすとめいとホールディングス (308A)
2024年6月期 決算短信 [日本基準] (連結)

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△92,053	20,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	—
その他の包括利益合計	6	—
包括利益	△92,047	20,601
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△92,047	20,601

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益		純資産合計額
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	15,000	42,796	△23,348	34,448	△7	△7	34,440
当期変動額							
新株の発行	15,000	15,000		30,000			30,000
親会社株主に帰属する当期純利益又は損失(△)			△92,053	△92,053			△92,053
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					13	13	13
当期変動額合計	15,000	15,000	△92,053	△62,053	13	13	△62,040
当期末残高	30,000	57,796	△115,402	△27,605	6	6	△27,599

当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益		純資産合計額
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	30,000	57,796	△115,402	△27,605	6	6	△27,599
当期変動額							
新株の発行	17,500	17,500		35,000			35,000
親会社株主に帰属する当期純利益又は損失(△)			20,601	20,601			20,601
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△6	△6	△6
当期変動額合計	17,500	17,500	20,601	55,601	△6	△6	55,594
当期末残高	47,500	75,296	△94,800	27,995	—	—	27,995

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△64,403	17,556
減価償却費	43,961	39,731
減損損失	2,282	43,629
のれん償却額	6,125	6,125
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,162	3,198
受取利息及び受取配当金	△142	△130
支払利息	7,481	6,950
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,868	△2,220
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△53	△2,882
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,544	178
その他	31,629	2,580
小計	26,719	114,717
利息及び配当金の受取額	142	130
利息の支払額	△7,481	△6,677
法人税等の支払額	△4,078	△6,414
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,301	101,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,107	△217
無形固定資産の取得による支出	△4,892	△1,271
投資有価証券の取得による支出	△240	△20
投資有価証券の売却による収入	—	935
敷金差入による支出	△5,351	△231
保険積立金の積立による支出	△1,601	△2,668
保険積立金の積立解約による収入	8,404	—
その他	9	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,779	△3,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	54,399	△70,000
長期借入れによる収入	361,018	130,000
長期借入金の返済による支出	△442,892	△110,187
株式の発行による収入	30,000	35,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,526	△15,187
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△23,951	83,096
現金及び現金同等物の期首残高	94,730	70,779
現金及び現金同等物の期末残高	70,779	153,876

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度

1. 配当金支払額

該当事項ありません。

2. 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当連結会計年度の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

2023年9月26日に資本金10,000千円、資本準備金10,000千円の増資を行い、40,000株の新株を発行し、
2024年5月27日に資本金7,500千円、資本準備金7,500千円の増資を行い、30,000株の新株を発行しております。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループはサービス別に事業部を置き、事業部ごとに取り扱うサービスについて事業活動を行っております。当社グループは、事業部を基礎としたセグメントによって構成されており、「保育事業」「ビルメンテナンス事業」「コンサルティング等事業」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の資産の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一となっております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースでの数値です。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 2	合計
	保育事業	ビルメンテ ナンス事業	コンサルティ ング等事業			
売上高						
顧客の契約から 生じる収益	1,043,136	157,340	13,492	1,213,969	—	1,213,969
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,043,136	157,340	13,492	1,213,969	—	1,213,969
セグメント間の内部売 上高	—	49,317	21,600	70,917	△70,917	—
計	1,043,136	206,657	35,092	1,284,886	△70,917	1,213,969
セグメント利益又は損失 (△)	△116,404	7,692	4,839	△103,871	20,539	△83,332
セグメント資産	757,448	90,126	68,163	915,738	△106,749	808,989
その他の項目						
減価償却費	38,109	3,095	2,661	43,866	94	43,961
のれん償却額	—	2,686	3,439	6,125	—	6,125
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	41,178	1,555	—	42,734	265	42,999

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去及び全社費用の金額が含まれております。

全社費用は主に販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び全社資産の金額 37,570 千円が含まれて
おります。全社資産は、主に、(株)ぼすとめいとホールディングスの資産であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当期連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 2	合計
	保育事業	ビルメンテナ ンス事業	コンサルティ ング等事業			
売上高						
顧客の契約から 生じる収益	1,150,912	168,015	9,013	1,327,940	—	1,327,940
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,150,912	168,015	9,013	1,327,940	—	1,327,940
セグメント間の内部売 上高	20,400	7,148	19,800	47,348	△47,348	—
計	1,171,312	175,163	28,813	1,375,288	△47,348	1,327,940
セグメント利益又は損失 (△)	39,645	△15,512	△1,878	22,253	8,473	30,727
セグメント資産	714,588	69,966	55,257	839,812	△37,014	802,798
その他の項目						
減価償却費	35,136	1,931	2,577	39,645	85	39,731
のれん償却額	—	2,686	3,439	6,125	—	6,125
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,488	—	—	1,488	—	1,488

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間投資取引消去及び全社費用の金額が含まれております。

全社費用は主に販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び全社資産の金額3,385千円が含まれており
ます。全社資産は、主に、(株)ぼすとめいとホールディングスの資産であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	△165円69銭	118円34銭
1株当たり当期純利益	△677円86銭	102円1銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純損失金額(△)(千円)	△92,053	20,601
親会社株主に帰属しない金額(千円)	—	—
親会社株主に帰属する 当期純損失金額(△)(千円)	△92,053	20,601
期中平均株式数(株)	135,798	201,952
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含め なかつた潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。